

太陽光パネルによる電力自給システムを利用した海面網生簀におけるカタクチイワシの育成に及ぼす夜間電照の影響

メタデータ	言語: Japanese 出版者: 公開日: 2024-08-06 キーワード (Ja): カタクチイワシ; 電力自給システム; 海面網生簀; 夜間電照 キーワード (En): 作成者: 黒坂, 浩平, 米田, 道夫, 高山, 剛, 津崎, 龍雄, 稲葉, 太郎, 齋田, 尚希, 保尊, 脩 メールアドレス: 所属:
URL	https://fra.repo.nii.ac.jp/records/2010616

This work is licensed under a Creative Commons Attribution 4.0 International License.



太陽光パネルによる電力自給システムを利用した海面網生簀におけるカタクチイワシの育成に及ぼす夜間電照の影響

黒坂浩平・米田遼夫・高山 剛・津崎龍雄・稲葉太郎・
齋田尚希・保尊 脩

本研究では、太陽光パネルにおける電力自給システムを利用した夜間電照によるカタクチイワシの成長、生残、食性の影響を高知県古満目湾と鹿児島県薄井湾の海面網生簀において調べた。電照による餌生物の出現状況から、両海域ともにカイアシ類を含む餌生物種の採集個体数は夜～早朝に最大になったが、日出後には急速に減少した。実験期間中、本システムからLED電球に対する電力供給は維持された。実験終了時の照明区の標本の成長率や生残率は非照明区よりも有意に高かった。照明区の胃の中にはカイアシ類、アミ類、仔稚魚類を含む多くの餌生物種が観察された。これらのことから、本システムを利用した夜間電照は海面網生簀における本種の育成に有効であると考えられた。